

平成28年2月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

袋井市議会

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています

Yahoo! や Google などの検索画面から

「袋井市役所／市議会トップページ」



「本会議のインターネット中継」をクリック



（ライブ中継） または （録画放送）をクリック

傍聴者の皆様へ

携帯電話はマナーモードに切り替えをお願いします。

一般質問通告議員

3月1日(火) 午前

| 質問順序 | 質問形式 | | ページ |
|------|------|--------|-------|
| 1番 | 一括 | 岡本幹男議員 | ・・・ 1 |
| 2番 | 一括 | 大庭通嘉議員 | ・・・ 3 |
| 3番 | 一括 | 沼上賢次議員 | ・・・ 4 |

3月1日(火) 午後

| | | | |
|----|------|--------|-------|
| 4番 | 一括 | 鈴木弘睦議員 | ・・・ 5 |
| 5番 | 一問一答 | 高橋美博議員 | ・・・ 6 |
| 6番 | 一問一答 | 廣岡英一議員 | ・・・ 7 |

3月2日(水) 午前

| | | | |
|----|------|---------|--------|
| 7番 | 一括 | 寺井紗知子議員 | ・・・ 9 |
| 8番 | 一問一答 | 伊藤謙一議員 | ・・・ 10 |
| 9番 | 一括 | 戸塚文彦議員 | ・・・ 12 |

3月2日(水) 午後

| | | | |
|-----|----|--------|--------|
| 10番 | 一括 | 田中克周議員 | ・・・ 13 |
|-----|----|--------|--------|

| 質問順序 | 1 | 議席番号 | 2 | 質問者 | 岡本 幹男 |
|-----------------------------|---|------|---|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一括>> | | | | | |
| 1 | <p>火災時の初期消火の改善点について</p> <p>火災発生時には、いち早い通報とともに近隣住民による初期消火が被害の拡大を食い止めるカギとなる。そこで、これに関連し次の3点について伺う。</p> <p>(1) 消火栓の数、位置、収納箱の中のホースは現状で十分か。現状の消火栓と、各収納箱内の20メートルのホース2本で地域全体がカバーされているか検証する必要があるのではないか。その際、直線距離によるのではなく、実際にホースを設置する距離を歩測することが有効と考えるがどうか。</p> <p>(2) 消火栓と防火水槽の位置図の正確性について再確認した上で、位置図を回覧か各戸配布の方法で地域に周知させる必要はないか。</p> <p>(3) 初期消火の態勢整備が必要ではないか。ホースの購入と設置は、各自治会の責任においてなされているが、点検や訓練実施に市の支援が必要ではないか。</p> | | | | |
| 2 | <p>高齢者福祉の態勢整備について</p> <p>高齢者福祉の態勢整備について次の3点を伺う。</p> <p>(1) 地域包括支援センターは当初の設置より10年を経過するため、利用者の利便性向上の観点より設置場所について見直す必要はないか。</p> <p>ア 浅羽地域包括支援センターは、自主運行バスの発着地である浅羽保健センターへの移転が利用者の利便性向上に資するのではないか。</p> <p>イ 袋井南部地域包括支援センターは、袋井中学校区の新屋の袋井市総合センター内2階にあり、袋井南中学校区内施設の1階が適切ではないか。</p> <p>ウ 袋井中部地域包括支援センターは袋井中学校区の北端にあり、位置の再検討が必要ではないか。</p> <p>エ 袋井北部地域包括支援センターは宇刈地区にあり、自主運行バスがなくなることや今井・三川地区も担当地域であるところから山梨地区への移転が適切ではないか。</p> <p>(2) 介護保険法の地域支援事業として重要な生活支援コーディネーターは、具体的にどのように充実させていくか。また、一層＝市単位の施策、二層＝地域包括支援センター単位の施策、三層＝公民館単位の施策とされるが、市の施策はどのように展開させるか。さらに、協議体の設置はどのように進めていくか。</p> <p>(3) 今後、介護職など高齢者福祉の人材確保と定着率向上のためには、現場で働く人のメンタルヘルスの相談窓口設置が重要となる。従来のように雇用先施設の対応だけでは限界も指摘されているが、支援の態勢は十分か。</p> | | | | |
| 3 | <p>袋井市創業支援事業の運用について</p> <p>袋井市内では高齢化や後継者不足などのため廃業など消滅する事業所も多く、新規事業所の起業・創業が喫緊の課題となっている。そこで、これらの対策の一環として平成27年10月に産業競争力強化法に基づく国の認定を受けた袋井市創業支援事業の運用について次の3点を伺う。</p> <p>(1) 袋井市内の直近の事業所の消滅の件数と新規創業の件数の実態はどうか。創業支援事業計画では、相談件数の年間目標を178件、創業件数の年間目標を26件としているが、この目標の根拠は何か。</p> | | | | |

| | | | | | |
|-------------------------------|--|------|---|-----|-------|
| 質問順序 | 1 | 議席番号 | 2 | 質問者 | 岡本 幹男 |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》 | | | | | |
| | <p>(2) 本事業では、袋井商工会議所や浅羽町商工会など商工団体や市内金融機関などと連携し「ふくろい創業支援ネットワーク」による支援を中核としている。特定創業支援事業の内容は何か。また、認定を受けた創業者のメリットにはどのような実効性があるか。</p> <p>(3) 待ちの姿勢ではなく、情報の活用など積極的に創業希望者や創業者を掘り起こす施策はあるか。また、袋井市の経済活性化のためには、市外からの創業者を積極的に募るべきと考えるが、東京事務所や姉妹都市との連携など具体策を考えているか。</p> | | | | |

| 質問順序 | 2 | 議席番号 | 19 | 質問者 | 大庭 通嘉 |
|-------------------------------|--|------|----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》 | | | | | |
| 1 | シティプロモーション事業について 平成28年度、シティプロモーション室を新たに設置して全国・世界を視野に本市の都市ブランド力を向上させ、移住・交流人口の増加につなげたいとしているが、その推進策を伺う。 (1) シティプロモーション戦略の構築について (2) 推進組織体制について (3) 何を地域ブランドとして発信していくか (4) シティプロモーションの具体的事業の進め方 ア 袋井まつり・屋台の活用 イ 観光案内所の有効な活用 ウ 地域ブランドとしての浅羽海浜公園の整備方針 | | | | |
| 2 | 放課後児童クラブについて 6年生までの児童受け入れが予定され、放課後児童クラブの施設整備が急がれている。需要も一層増しており、当該事業の今後の進め方について伺う。 (1) 現施設の設備・運用面における課題について (2) 平成31年度までの前倒しの実施計画について (3) 放課後児童クラブにおける課題について (4) 公民館「コミュニティセンター」への併設について (袋井西公民館への併設は最良案か) (5) 育成会会長の責任の範囲と負担軽減について (6) 袋井西小学校の放課後児童クラブの施設建設場所について | | | | |
| 3 | 歴史文化の顕彰、振興策について 袋井市の歴史文化の発展に貢献された故前吉岡副市長の遺志を継いで歴史文化の振興策を再度見直すとともに、今後のさらなる推進策を伺う。 (1) 歴史文化館開館後の実績・成果の検証について (2) 文化財の棚卸しと、整理活用など進捗状況について (3) 市史編さんに対する考え方と「目で見える市史」等の再発行について (4) 市学芸員の人事政策・組織体制について | | | | |

| 質問順序 | 3 | 議席番号 | 5 | 質問者 | 沼上 賢次 |
|-------------------------------|---|------|---|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》 | | | | | |
| 1 | 新たな10年へ向け行政の取り組み (1) 入籍のお祝いの気持ちを込めたカラフルなオリジナルな婚姻届を作成し、新しく夫婦になる門出を祝い、市に愛着を持ってもらえる取り組みを。 ア 門出を祝す市独自のオリジナル「婚姻届」「ふたりの記念用婚姻届」を作成できないか伺う。 イ 形で残る記念写真を撮れる「バックボード」を設置できないか伺う。 (2) 市のイメージキャラクターなどが描かれたプレートは、地域振興のPRや地域への関心、愛着の醸成につながると反響を呼んでいる。 ア 他市での導入状況をどう認識されるか伺う。 イ 地域活性化を図るご当地ナンバーを導入できないか伺う。 | | | | |
| 2 | 市立図書館運営 今、活字離れが指摘されている。子どもや市民に読書に親しんでもらうため、特色を活かした創意工夫で豊かな人間性を育み読書への意欲を高める。 (1) 「読書通帳」の導入で読書力の向上の取り組みができないか伺う。 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------------------|--|------|----|-----|-------|
| 質問順序 | 4 | 議席番号 | 10 | 質問者 | 鈴木 弘睦 |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》 | | | | | |
| 1 | 袋井版地方創生に向けた取り組み (1) 新たな観光戦略について ア DMOに近い組織作りの必要性 イ 遠州三山を結ぶ交通手段の必要性 ウ 情報発信について、今後どのように行っていくのか エ ファムトリップ事業について オ 近隣市町との連携について (2) 豊かな市民力としての英語力向上への考えについて伺う。 (3) ふるさとサポーター・ふるさと住民票等の導入について ア ふるさと納税者に対し制度を設ける考えについて伺う。 イ 市外に住む固定資産税納入者等に制度を設ける考えについて伺う。 ウ U・I・Jターンの増加策として市内2高等学校と専門学校・大学の卒業生へ制度を設ける考えについて伺う。 | | | | |
| 2 | 改正公職選挙法への対応 (1) 投票しやすい環境整備について ア 市民が投票しやすい環境づくりへの対応についての考えを伺う。 イ 持続性のある取り組みとして学校等に投票箱等の貸し出しが有効かと思うが、実績と見解について伺う。 | | | | |

| 質問順序 | 5 | 議席番号 | 1 2 | 質問者 | 高橋 美博 |
|-------------------------------|--|------|-----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一問一答>> | | | | | |
| 1 介護保険について | <p>平成27年度からの介護保険法改正と介護報酬改定は介護保険事業の運営に大きな影響を与えている。本市の現状と今後の対応を伺う。</p> <p>(1) 制度改正、介護報酬引き下げにより市内の介護施設の運営、サービスの量、職員確保などに影響はないか。</p> <p>(2) 地域包括ケアシステムについて</p> <p>ア システム構築に向けて現在の取り組み状況はどうか。</p> <p>イ 医療と介護の連携をどのように図っているか。</p> <p>ウ 地域ケア会議の設置と運営状況はどうか。</p> <p>エ 生活支援コーディネーターの育成は進んでいるか。</p> <p>オ サービス付き高齢者住宅や有料老人ホームが急増している。実態を把握しているか。</p> <p>(3) 介護予防・日常生活総合支援事業について</p> <p>ア 新たな担い手の育成は進んでいるか。</p> <p>イ 新たに立ち上げたサービスはあるか。</p> <p>ウ 制度設計、体制確立など移行への目途は立っているか。</p> <p>エ 国は利用者の振り分けに基本チェックリストの活用を求めている。市の考えはどうか。</p> <p>オ サービス低下にならないよう財源の確保を望むがどうか。</p> | | | | |
| 2 自転車の交通安全対策について | <p>市はサイクルタウン推進事業（自転車を活かしたまちづくり）を掲げ様々な施策を打ち出しているが、安全対策を軽視しているように思われる。自転車の交通安全対策の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 市や学校での自転車の交通ルールの周知、安全教育はどうか。</p> <p>(2) 袋井市での自転車事故の発生件数と実態はどうか。</p> <p>(3) 自転車ヘルメット購入補助制度の実施はどうか。</p> <p>(4) 自転車専用レーンについて新年度モデル路線の整備を行うとしているが、優先順位と進め方はどうか。</p> <p>(5) 自転車の通行に関する標識の設置など当面の対策が必要ではないか。</p> <p>(6) 安全対策を進める裏付けとなる「自転車の安全な利用に関する条例」を制定する考えはないか。</p> | | | | |
| 3 主権者教育について | <p>選挙権が18歳以上に拡大され今年夏の参議院選挙から実施となる。教育の現場でも子どもたちを一人の主権者に育ててゆく主権者教育が重要となる。本市の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 小中学校段階で求められる主権者教育をどう捉えているか。</p> <p>(2) 中学生未来会議のほかに小中学校ではどのような取り組みをしているか。</p> <p>(3) 市内中学校の生徒会選挙、小学校の児童会選挙の取り組みはどうか。</p> <p>(4) 市選挙管理委員会と連携した取り組みはどうか。</p> | | | | |

| 質問順序 | 6 | 議席番号 | 14 | 質問者 | 廣岡 英一 |
|---------------------------------|---|------|----|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一問一答>> | | | | | |
| 1 | <p>海辺の環境づくり</p> <p>合併時、浅羽南地区の海岸地域は、海岸侵食、松枯れ、耕作放棄畑、環境公害という4つの環境問題ほか、ふれあい福田漁港構想の促進などの課題があった。また、東日本大震災により津波対策も浮上した。</p> <p>防潮堤の整備が本格的にスタートする年にあたり、浅羽海岸の保全と利活用について伺う。</p> <p>(1) 袋井市静岡モデル防潮堤整備事業について 新市建設計画の一つであった海浜公園等整備事業の扱いについては、いまだ明言されているとは言えない。また、「袋井幸浦の丘」は構想の段階である。 ア 「袋井市静岡モデル防潮堤整備事業利活用基本計画」がまとめられた今、これを「海浜公園等整備事業」の代替構想とすべきではないか。 イ 浅羽南地区の意向として、平成22年2月に市へ提出した「浅羽海岸海浜公園等整備へ向けた趣意書」は、利活用基本計画等でどのように扱われているか。 ウ 「袋井幸浦の丘プロジェクト」は、どのような手順で、いつ実施計画をまとめていくのか。また、防潮堤整備に係る県の事業期間、枯損木区間以外に残る1.3km余の実施計画、及び磐田市・掛川市との施工調整はどうか。</p> <p>(2) 海岸侵食について 浅羽海岸の養浜に期待がかかるサンドバイパス事業だが、事業の効果予測さえも明確ではない。一方、浜崖は一段と進んでいる。 ア 本市は、サンドバイパス事業の効果はどう考えているか。 イ ヘッドランドや離岸堤の整備を県へ要望すべきではないか。 ウ 福田漁港の第4種避難港としての永続性、自然漂砂が可能な港への研究を県へ要望すべきではないか。</p> <p>(3) ふれあい福田漁港建設促進協議会で協議してきた海岸の利活用について ア 福田漁港ゾーニング計画の推進にあたり、磐田市との連携や本市の取り組みはどうか。迂回路の議論はその後どうなっているのか。 イ サーフィンスポットは湊海岸であり、サーフィン連盟への支援とともに、本市のシティプロモーションに活用すべきではないか。</p> | | | | |
| 2 | <p>協働によるまちづくり</p> <p>市長は合併初年度の施政方針で、協働によるまちづくりの必要性を話された。以来、「協働まちづくりの指針」の策定、「ふらっと」の開設と協働まちづくり事業の推進、「市民と行政のパートナーシップによる新たなまちづくり」の提唱、公民館のコミュニティセンター化への模索と続き、本定例会では参加と協働のまちづくりが重要であるとする「袋井市日本一健康文化都市条例の制定」が上程された。</p> <p>振り返って、本市の協働によるまちづくりについて伺う。</p> <p>(1) 協働によるまちづくりの推進方針について 協働によるまちづくりは、健康文化都市の建設を目指し、NPO、企業、地域、行政などが協働して進める全市的なもの。パートナーシップによる新たなまちづくりは、地域課題の解決に向け、地域と行政がパートナーになり満足度の高いまちづくりを進める手法、という理解でよろしいか。また、今後も同様の方針で進めていくのか。</p> | | | | |

| | | | | | |
|---------------------------------|---|------|----|-----|-------|
| 質問順序 | 6 | 議席番号 | 14 | 質問者 | 廣岡 英一 |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一問一答》 | | | | | |
| | <p>(2) 協働によるまちづくりの定義と取り組み分野について 茅野市は、「パートナーシップのまちづくり基本条例」で、「パートナーシップのまちづくりとは、まちづくりに市民等が主体的にかかわり、市がそれを支援し、公民協働で取り組むまちづくりのこと」、「具体的には、福祉・環境・教育の分野を大きな柱として進め、次第に情報化や国際化、さらには公共施設の建設分野へも広がりを見せている」と述べている。本市も協働のまちづくりについて、市民感覚の分かりやすい表現にすべきではないか。</p> <p>(3) 協働の担い手を必要とする事業の推進について 目標年度を定めているコミュニティスクール、公民館のコミュニティセンター化、介護予防・日常生活総合支援ほか、見守りネットワーク、認知症サポーター、地域の居場所づくり、幸浦の丘プロジェクトなどの事業は、市民との協働無くしては実現しない。主たる担い手（パートナー）をどのように定め、体制づくりをどのように図ろうとしているのか。</p> <p>(4) 協働によるまちづくりには、市民力の向上やリーダーが不可欠であり、まちづくりを学ぶ場が必要ではないか。</p> | | | | |

| | | | | | |
|-------------------------------|---|------|----|-----|--------|
| 質問順序 | 7 | 議席番号 | 20 | 質問者 | 寺井 紗知子 |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》 | | | | | |
| 1 | 生活困窮者への支援 生活困窮者の食のセーフティネットとなるフードバンク事業が、暮らしの助けに少しでもなることを期待して、市の考えを伺う。 (1) フードバンク活用についての基本的な考え方 (2) 社会福祉協議会との連携はどのように。 (3) 市民・団体・企業等への協力依頼の方法は。 (4) 寄贈品受け入れ窓口の設置は。 | | | | |
| 2 | 養液栽培の温室メロン 培養液を使って育てるという新たな栽培方法での温室メロンについて (1) 将来展望について (2) 課題となるものは何か。 (3) 行政の支援、協力体制はとれるか。 | | | | |
| 3 | ペットと共に (1) ペットの防災 東日本大震災ではペットたちも犠牲になった。今なお、飼い主の元へ戻れない多くのペットは、ボランティアの皆さんなど善意の助けの中で生きている。その轍を踏まないようにしていくことが求められている。 ア 市内のペットの状況はいかに。 イ 同行避難のための対応として避難所運営マニュアルの作成を ウ 平常時からの備えとして飼い主等への啓発 エ 防災訓練の実施について (2) ペット霊園 家族の一員として可愛がられてきたペットの死後も、家族のもとで眠れる場所を。 ア 市営の霊園に納骨可とする考えについて イ 規則等で明記することについて | | | | |

| | | | | | |
|------|---|------|---|-----|-------|
| 質問順序 | 8 | 議席番号 | 4 | 質問者 | 伊藤 謙一 |
|------|---|------|---|-----|-------|

質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一問一答>>

1 シティプロモーションについて

今後の地方における人口減少や少子高齢化を踏まえ、地方自治体において、経済市場の縮小や労働人口の減少による人材不足などによる、将来の地域の経済力及び街の力の低下が懸念されている。我が街の力を維持し持続的な発展を可能とするためには、都市間競争が激しくなる中で、住民や企業、各種団体に「選ばれる地域」になることが必須だと感じる。今後は産業の振興や生活環境の充実といった取り組みにより地域の魅力を高めるだけでなく、地域の魅力を「選ぶ」消費者に適切に伝える努力が不可欠であると考え。近年、こうした考えからシティプロモーションに注力する地方自治体が増えていると感じるため、以下を問う。

- (1) 本市においても地方創生の取り組みとして、昨年引き続き本定例会においても多くのシティプロモーション政策が打ち出されているため、改めてその目的を伺う。
- (2) 2月18日に行われた定例市長記者会見の資料においてもシティプロモーションに関して、“戦略”という言葉が強調されているように感じる。今後、どのような事業展開を予定されているか伺う。
- (3) 1月14日発行の地方創生 やらまいか通信 27号によれば、県内初のコラボレーションとして本市と地域密着のブログサイトはまぞうとのシティプロモーションが始動し、既に本市のサイトがはまぞうにて動き出している。大変期待を寄せているが、改めてこの事業の目的、現在の事業内容及び今後の事業展開を伺う。
- (4) 昨年、東京交流会においてふくろい未来大使として財界、スポーツ、芸能界等の各方面にて活躍する本市と関係性の深い12名の方々が紹介された。抜群の広報力を持ち、特に全国的に情報発信を行うことができる貴重な機会を得ていると考えるが、今後どのような形で彼らを市民に紹介する機会があるか。また、どのようにこのシティプロモーションと関係性を持っていただくか伺う。
- (5) プロモーションとはマーケティングに関する一つの手法だと感じている。近年、このプロモーションを含めた4Pから4Cという考え方が主流になっている。消費者目線のマーケティングという意味であり、本市にも是非戦略の中に取り入れていただきたいと感じるがいかがか。

2 市職員の労働時間について

近年、大手飲食会社チェーンで働く従業員の労働時間の長さが話題になり、多くのメディアに取り上げられ問題視されている。本市に住む市民の皆様の負託に応えることは最大限取り組む必要があると感じるが、もちろん職員個人のワークライフバランスも重要であると感じるため、以下を問う。

- (1) 定員適正化計画のもと、年々職員数の削減に取り組んでおり平成23年546人から平成27年には513人にまで削減されている。一方で業務は増え続けている印象を受けるが、業務時間の推移はどうなっているか。直近での傾向を伺う。
- (2) 市はノー残業デーの推進など時間外勤務を減らすことで労働環境の改善を目指しているが、職員一人あたりの平均の時間外勤務はどれくらいか。また、課によって業務量の違いも見込まれるため、時間外勤務の多い課の平均はどれくらいか伺う。

| | | | | | |
|---------------------------------|--|------|---|-----|-------|
| 質問順序 | 8 | 議席番号 | 4 | 質問者 | 伊藤 謙一 |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一問一括》 | | | | | |
| | (3) 日々の業務過多が新規事業への取り組み意欲や企画のパフォーマンスを下げる場合が考えられる。今後の定員適正化計画と業務量過多への対策の関係をどのように考えているか伺いたい。 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------------------|---|------|----|-----|-------|
| 質問順序 | 9 | 議席番号 | 16 | 質問者 | 戸塚 文彦 |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》 | | | | | |
| 1 | 補助事業の見直し 過去5年間を見ると、補助費等に係る経常収支比率が類似団体平均に比べて高い。行革推進委員会の提言にもあるように補助金等の見直しを図ることが必要である。平成28年度は、定期見直しの年度である。 (1) 年度目標は、20,000千円であるが、その算出根拠は。 (2) すべての補助金等を対象とし見直しとあるが、その実施方法は。 (3) 透明性を高めるため外部委員会としての「補助金等検討委員会」の設置を提案する。 | | | | |
| 2 | 静岡理科大学との連携強化 地方創生を踏まえ、大学の地域貢献や人材育成・定着へ産官学の連携強化が求められている。 (1) 地域課題の解決に踏み込む大学を支援する「地（知）の拠点事業」の推進の具体的取り組み策は。 | | | | |
| 3 | 自治体の情報セキュリティ対策 マイナンバーの運用をめぐり、地方自治体では情報セキュリティ対策を急いでいる。 (1) 本市においてこれまでにサイバー攻撃を受けたことがあるか。 (2) 本市の情報セキュリティ対策は、万全か。総務省が自治体に求める三層の情報セキュリティ対策についての対応は。 | | | | |
| 4 | 高齢化対策 多世代集住型のコミュニティーが注目されている。高齢者と若者など多世代が同じタウンで共存することで、新たな地方創生の切り札として期待される声もある。 (1) 日本版CCRCの推進を研究することを提案する。 | | | | |

| 質問順序 | 10 | 議席番号 | 6 | 質問者 | 田中 克周 |
|-------------------------------|--|------|---|-----|-------|
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》 | | | | | |
| 1 | <p>シティプロモーションについて</p> <p>近年、全国的に魅力を創造し、発信するシティプロモーションに積極的に取り組む自治体が増えている。来年度から、袋井市もシティプロモーション室が設置されることから、以下について伺う。</p> <p>(1) 人口減少・高齢化は労働力人口の減少を招き、税収も減少することになる。この税収を補完する意味で、今後は税外収入を積極的に増やしていく取り組みを展開する必要があると考えるが、どうか。</p> <p>(2) 平成28年度、新たにシティプロモーション室を設置し、プロモーション活動の充実強化を目指す方針が示されたが、具体的にどのような取り組みをするのか、お伺いします。また、成果を上げるためには、「何を」「誰に」売り込むのか、ターゲットを絞ることが重要と考えるが、どうか。</p> <p>(3) 来年度から「ふるさと納税」の積極展開を示されたが、 ア 「返礼品」について、その範囲をどのような考えにより拡大したのか、お伺いする。 イ ふるさと納税からシティプロモーションへとつなげるための戦略は検討されているのか。 ウ 今、ふるさと納税で人気の自治体は「ポイント&カタログ制」が導入されています。本市も今回の見直しを機に取り入れるべきと提案するが、どうか。</p> | | | | |
| 2 | <p>トイレについて</p> <p>日常生活で洋式トイレ、更に災害時での仮設トイレや簡易トイレと、トイレにまつわる問題は看過できないものと考え、以下について質問する。</p> <p>(1) まず、和式、洋式トイレの設置基準、及び本市の基本的な考え方はどうなっているのか伺う。</p> <p>(2) 小中学校のトイレの洋式化については、基本的に大規模改修に合わせて計画的に整備する方針だが、長期にわたるため別途改修する計画はないのか。</p> <p>(3) 本市の公共施設（幼・学校を除き、公衆トイレを含む）の洋式トイレの整備状況と今後の整備方針について伺う。</p> <p>(4) 袋井市役所本館1階のトイレには男女とも洋式トイレが1基整備されているが、市民からは洋式化の要望が多い。また、経年劣化も進み、加えて昼休みの職員の歯磨きによる苦情もあることから、リニューアルの時期と考えるが、どうか。</p> <p>(5) 発災時の簡易トイレの汚物は、可燃ごみとして収集され、焼却処分されるが、集積場所の問題や回収までに日数を要する場合の処置等、他の可燃ごみとは別枠での取り扱いが必要となる。ルール化も含め市の指導はどのようになっているのか。</p> <p>(6) 建設現場での女性の進出に伴い、最近仮設トイレが急速に改善されている。女性専用や洋式便器（洗浄便座）、段差の解消など、要配慮者にも配慮したものとなっている。本市の備蓄トイレや協定事業者の仮設トイレにつき、このような質の高いトイレに変更すべきではないかと考えるが、どうか。</p> | | | | |

| | | | | | |
|-------------------------------|---|------|---|-----|-------|
| 質問順序 | 10 | 議席番号 | 6 | 質問者 | 田中 克周 |
| 質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》 | | | | | |
| | <p>(7) 本市は、仮設トイレの設置割合を100人当たり1基として計算し、必要数を算出している。男女の区別に配慮した設置をすべきと考えるが、どうか。</p> <p>加えて、災害時や紛争時の人道支援の向上を目的とする国際基準「スフィア基準」によると、トイレの男女の比率は、男性1に対して女性3が望ましいと規定している。どう考えるか。</p> | | | | |
| 3 | <p>公共施設等の管理計画について</p> <p>全国どこの自治体も、公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっている。厳しい財政状況の続く中、人口減少を踏まえ、更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行い、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となっている。</p> <p>(1) 公共施設マネジメント計画策定の進捗状況及び策定における基本方針はどのようなものか。</p> <p>(2) 総務省が求める「公共施設等総合管理計画」の策定と本市が進める公共施設マネジメント計画について、基本的な考え方及び整合性はどうか。</p> <p>(3) 公共施設マネジメント計画の策定後、マネジメントをどのような進め方で取り組んでいくのか。また、いつ、どこから着手し進めていくのか。</p> | | | | |